Pioneer

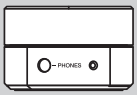
PREMIUM USB SPEAKER
ISS-C270A-S

取扱説明書
（保証書付）

DESK LIVE

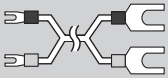
■ 付属品の確認

ボリュームコントローラー × 1
コネクタ付きケーブル 1 m
(OXA8128)

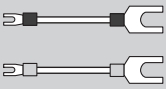


USB 2.0 接続ケーブル × 1
A/B 金メッキ端子 1 m
(ODF8020)

L ch 用スピーカーケーブル × 1
Y 型ラグ端子付き OFC 1.5 m
(ODF8023)



R ch 用スピーカーケーブル × 2
Y 型ラグ端子付き OFC 3 cm
(ODF8024 (赤) / ODF8025 (黒))



すべり止め × 8
(OEB8094)

取扱説明書 *（本書）× 1
* 保証書付き

※組立にはプラスドライバーをご用意ください。

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。

● 記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く) が描かれています。

⚠ 警告

組み立て、取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、改造、天災などによる事故損傷については、弊社は一切責任を負いません。

[使用方法]

小さな部品をお子様の手の届くところに置かないでください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

[設置]

本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

[使用環境]

この機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

[使用方法]

アクティブ / パッシブモードの切り替え時は、必ず接続を変更してください。（⇒ 6 ページ参照）故障や火災の原因となります。

内蔵アンプは、絶対に他のスピーカーと接続しないでください。火災の原因となります。

このスピーカーシステムのインピーダンスは、4 Ωです。負荷インピーダンスが 4 Ω対応のアンプ（スピーカー出力端子に 4 Ω適合の表示があるもの）に接続してお使いください。

スピーカーを過大入力による破損から守るため、下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力以上を入力しない。
- 本機を含む AV 機器をアンプへ接続するときはアンプの電源を OFF にする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げすぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、故障や火災の原因となることがあります。

本機に乗ったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。

バスレフポートなどから異物が混入したり、液体が侵入しないようにしてください。異物や液体が電気回路に触れてショートすると、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。

スピーカーユニットには強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないないでください。保護ネットや振動板を破損する恐れがあります。

[設置]

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

パソコン、オーディオ機器などに本機を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。

壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。

直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。素材や塗装の収縮によるエンクロージャーの変形、変色およびスピーカーが故障する原因になります。

人が不快に感じる環境は、スピーカーにとっても同じです。快適な環境でご使用していただくことにより、本来の性能を十分に発揮できます。

- クーラーやストーブなどで、お部屋を急激に冷やしたり暖めたりすると、お部屋が乾燥しすぎることがあるのでご注意ください。
- 外気の影響を受けやすい窓際などでは、結露する恐れがありますのでご注意ください。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ずUSB プラグを抜き、外部の接続ケーブルを外してから、行ってください。ケーブルが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

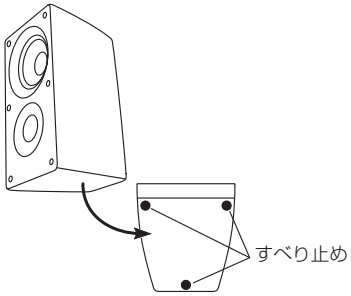
直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用の前に

すべり止めを取り付ける

設置する場所に応じて、付属のすべり止めを使用してください。すべり止めは、スピーカーの設置する面の3ケ所に貼り付けてご使用ください。ただし、設置する場所によって、すべり止めの効果が不十分になることがありますので、すべりやすい場所には設置しないでください。



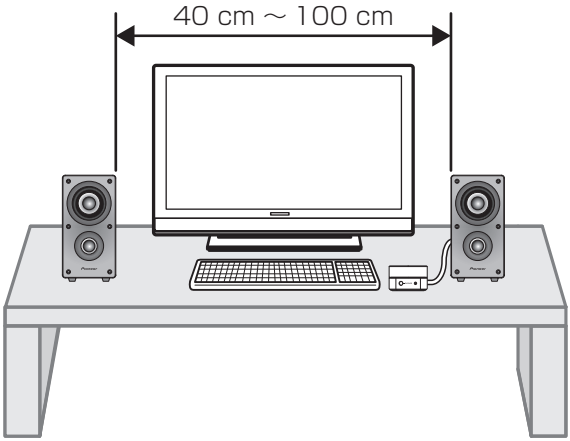
取り付け方に関してのご注意

- すべり止めは、シートから剥がして取り付けてください。

スピーカーの配置例

ヒント

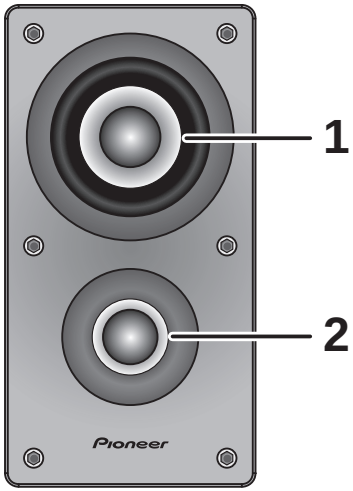
- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって影響を受けやすいものです。設置する場所を考慮し、最適な状態でご使用ください。
- 左右のスピーカーは、リスニングポジションに対して等距離になるように設置すると自然なステレオ感が得られます。
- 左右のスピーカーシステムの前面が、なるべくパソコンの画面より手前にくるように置いてください。



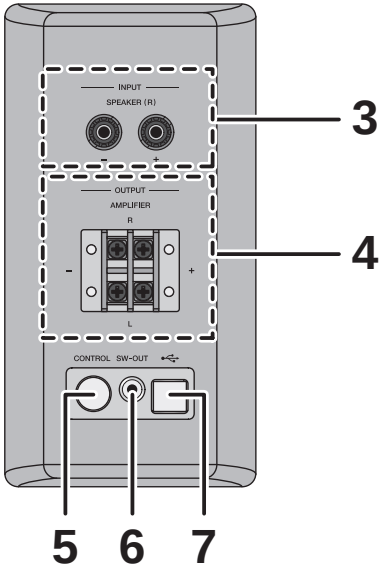
各部の名称

スピーカー

正面図



背面図（スピーカー R）



1 スピーカーユニット
保護ネットは取外し不可

2 バスレフポート

3 スピーカー入力（INPUT）端子
手動ネジ式（金メッキ）

4 アンプ出力（OUTPUT）端子
Y 型ラグ端子用プラスドライバーネジ式
（金メッキ）

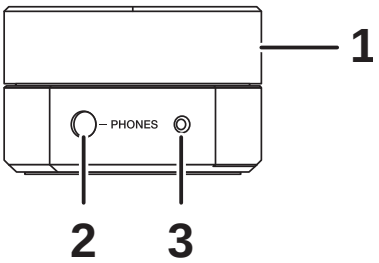
5 ボリュームコントローラー用端子

6 サブウーファー出力端子
RCA ピンジャック（金メッキ）

7 USB 端子
USB-B タイプ

※4～7はアクティブモード時のみ使用します。

ボリュームコントローラー



1 ボリュームノブ

2 ヘッドホン出力端子

3 インジケーター

接続する

パソコンと USB ケーブルで接続して使用する（アクティブモード）

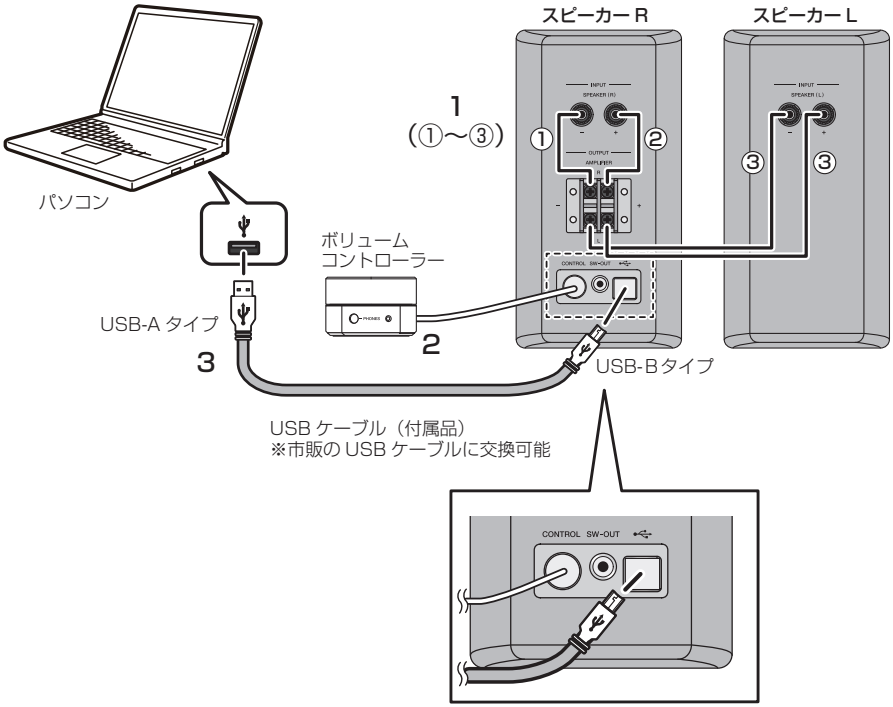
⚠ パソコンの仕様に関してのご注意

- 本機を接続するパソコンには、以下のシステム環境が必要です。
  - ■ OS：Windows XP、Vista、7、8 以降
    Mac OS 9.1、OSX 10.1 以降
  - ■ USB：USB1.1 以降

1. **スピーカーケーブルを接続する。**
   接続例の①～③の接続を行います。
   先にスピーカーＲ側の出力端子（OUTPUT）にＹ型ラグ端子を接続してください。その後、入力端子（INPUT）への接続を行ってください。
   →スピーカーケーブルの接続のしかたについて
   詳しくは「スピーカーケーブルを接続する（8 ページ）」をご覧ください。
2. **ボリュームコントローラーを接続する。**
3. **USB ケーブルをお使いのパソコンとスピーカーの USB ポートに接続する。**
4. **パソコンの電源を入れる。**
   本機は、パソコンから標準の USB オーディオデバイスとして認識されるため、USB ドライバーを別途インストールする必要はありません。
5. **本製品の接続が完了したら、本製品がコンピューターのシステムから正常に認識されていることを確認する。**
   ■ Windows 8 の場合（例）
   Ⅰ [設定] ー [コントロールパネル] を開きます。
   Ⅱ [サウンド] のアイコンを開き、[再生] タブを選択します。
   Ⅲ 再生デバイスが "USB AUDIO DAC" になっているか確認します。
6. **パソコンのメディアプレーヤーなどの再生ソフトウェアで再生する。**

※アクティブモードでお使いの際は、スピーカーケーブル（付属品）、ボリュームコントローラー (付属品)、USB ケーブル（付属品または市販品）、サブウーファー用ケーブル（市販品）以外を接続しないでください。

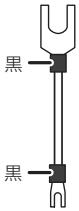
接続例



接続①について

下図イラスト 1 の Y 型ラグ端子をご使用ください。

イラスト 1



接続②について

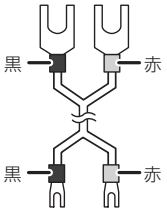
下図イラスト 2 の Y 型ラグ端子をご使用ください。

イラスト 2

接続③について

下図イラスト 3 の Y 型ラグ端子をご使用ください。

イラスト 3



ヒント

- アクティブモードは USB の電源だけで動作します。このため USB の電源や伝送経路によって音質に影響がでます。
- パソコンや USB ケーブルを変更することで音質が変わることがあります。

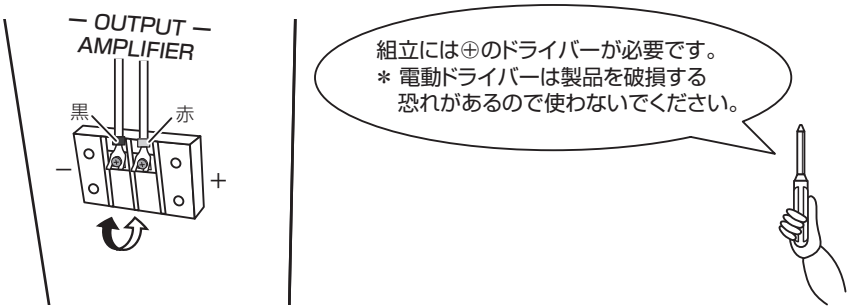
スピーカーケーブルを接続する

アンプ (AMPLIFIER) 部の出力端子 (OUTPUT) にケーブルを接続する

Y 型ラグ端子（小）を出力端子（OUTPUT）へそれぞれ接続します。

ドライバーで出力端子（OUTPUT）のネジ（金色）を左側（ ↺ ）に回して緩め、スピーカーケーブルの Y 型ラグ端子（小）を挟み込み、ネジを右側（ ↻ ）に回して締め付けます。

※出力端子の極性は赤がプラス（+）、黒がマイナス（−）です。

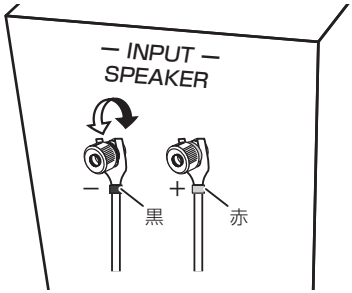


スピーカー (SPEAKER) 部の入力端子 (INPUT) にケーブルを接続する

Y 型ラグ端子（大）を入力端子（INPUT）へそれぞれ接続します。

手で入力端子（INPUT）のツマミを左側（ ↺ ）に回して緩め、スピーカーケーブルの Y 型ラグ端子（大）を挟み込み、ツマミを右側（ ↻ ）に回して締め付けます。

※入力端子の極性は赤がプラス（+）、黒がマイナス（−）です。

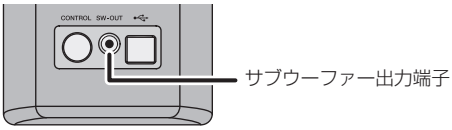


⚠ 接続に関してのご注意

- 本機の内蔵アンプには本機以外のスピーカーを接続しないでください。
- アンプに接続したときに、片方（スピーカー R またはスピーカー L）のスピーカーシステムの極性（+、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。
- Y 型ラグ端子の先端が端子に確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。

サブウーファー出力端子について

サブウーファー出力端子に市販のパワードサブウーファーを接続することができます。
（アクティブモード時のみ有効）
接続する場合は、サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。



ボリュームコントローラーについて

ボリュームコントローラーを接続している場合は、ランプ（青色）が点灯します。
右側（ ）に回すと音量が上がり、左側（ ）に回すと音量を下げることができます。

ヒント

- 本機はボリュームコントローラーを接続しなくても動作します。この場合は、パソコン側で音量を調整してください。
- ヘッドホンを使用する場合は、ボリュームコントローラーを接続してください。

ヘッドホンについて

ヘッドホンのプラグをボリュームコントローラーの PHONES 端子に接続してください。
ヘッドホンを差し込むと、スピーカーからは音が出なくなります。

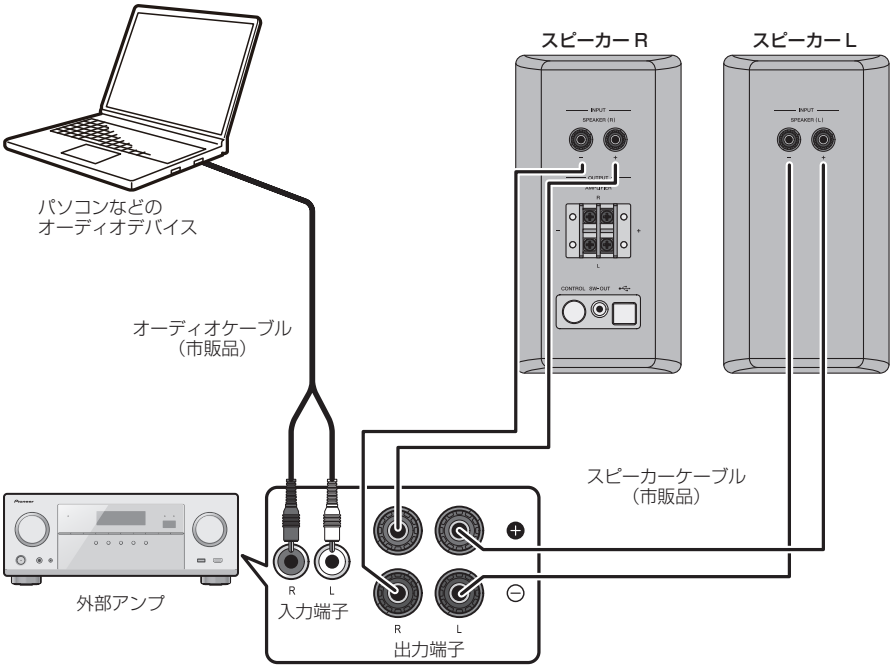
外部アンプと接続して使用する（パッシブモード）

本機は、外部アンプを使ってパッシブタイプのスピーカーとして使用することが可能です。
アンプやスピーカーケーブルを替えることで音の変化をお楽しみいただけます。

⚠ 接続に関してのご注意

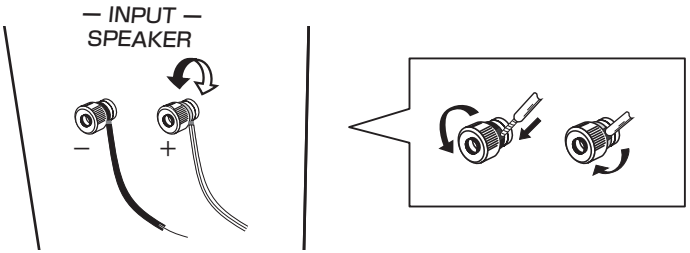
※パッシブモードでお使いの際は、スピーカーケーブル（付属品）、USB ケーブル（付属品または市販品）を必ず外してご使用ください。

接続例



外部アンプとの接続

1. 外部アンプの電源スイッチを切る。(POWER OFF)
2. スピーカーの入力端子 (INPUT) へスピーカーケーブル（市販品）を接続する。
   入力端子の極性は赤がプラス（+）、黒がマイナス（−）です。
   手で入力端子（INPUT）のツマミを左側（ ↺ ）に回して緩め、スピーカーケーブル（市販品）の先端を端子の穴に差し込み、ツマミを右側（ ↻ ）に回して締め付けます。



3. スピーカーケーブル（市販品）をアンプのスピーカー出力端子 (OUTPUT) に接続する。
   詳しくは、アンプの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 接続に関してのご注意

- 本機にはパッシブモードでお使いいただく場合のスピーカーケーブルは付属しておりません。
- ケーブルの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- ケーブルの芯線がはみ出して、他の芯線や製品の金属部分に触れると、アンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。外部アンプからスピーカーへの接続の際に、誤って内蔵アンプ出力端子（OUTPUT）に接続すると、故障や火災の原因となります。
- アンプに接続したときに、片方（スピーカー R またはスピーカー L）のスピーカーシステムの極性（+、−）を間違ってつないだ場合、正常なステレオ効果が得られなくなります。
- パッシブモードでは、本機からのサブウーファー出力は行われません。

ヒント

- スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって影響を受けやすいものです。低音域の音を大きくする場合は壁の近く、弱くする場合は部屋の中央部に配置します。

保証とアフターサービス

保証書（裏表紙）について

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 6 年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

連絡していただきたい内容

- ご住所：
- お名前：
- お電話番号：
- 製品名：PREMIUM USB SPEAKER
  （プレミアム USB スピーカー）
- 型番：ISS-C270A-S
- お買い上げ日：
- 故障の状況（できるだけ詳しく）

■ 保証期間中は：

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは：

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ 修理を依頼されるとき：

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご連絡ください。本品は持込み修理対応製品です。修理をお受けになるときには製品と保証書を持参してお申し付け下さい。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理等の送料は有料とさせていただきます。

スピーカーのお手入れ

- 通常は、柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどい場合は、水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに付属の注意事項をよくお読みください。
- スピーカーユニットを指などで触らないでください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所へのおもいやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉めたりするのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。以下の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、パソコンの電源を入れ直すか、USB プラグを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い求めの販売店またはカスタマーサポートセンターにご相談ください。

症状	原因	対策
音が出ない。	音量が最小になっていませんか。	音量を適度に上げてください。
	メディアプレーヤーなどの再生ソフトウェアボリュームが最小またはミュートになっていませんか。	音量を適度に上げるか、ミュートを解除してください。
	パソコン本体、またはパソコン上のボリュームコントロールがミュートになっていませんか。	ミュートを解除してください。
	USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。
	パソコンが USB スピーカーを認識していますか。	・USB ケーブルを正しく接続してください。 ・パソコンを再起動してください。
	スピーカーケーブルが正しく接続されていますか。	・スピーカーケーブルを正しく接続してください。 ・ケーブルが断線したり破損していないか確認してください。
	パソコンの再生デバイスが本機に設定されていますか。	再生デバイスを本機に設定してください。
	音量が大きすぎませんか。 パソコンの USB ポートが過大電流を検出して供給を停止する場合があります。	パソコンを再起動し、ボリュームを下げてから再生してください。
	ヘッドホンが接続されていませんか。	ヘッドホンをボリュームコントローラーから外してください。
片方のスピーカーから音が出ない。	スピーカーケーブルが正しく接続されていますか。	スピーカーケーブルを正しく接続してください。
音が歪む。	音量が大きすぎませんか。	音量を小さくして使用してください。
	メディアプレーヤーなどの再生ソフトウェアボリュームが小さくなっていませんか。	再生ソフトウェアのボリュームを最大に設定し、本機のボリュームコントローラー（アクティブモード）または外部アンプ（パッシブモード）でボリューム調整すると改善する場合があります。
音が途切れる。	音量が大きすぎませんか。 本機には、電源の電流消費を検知してアンプの内部電源がシャットダウンする機能があります。（検知した場合、ボリュームコントローラーのインジケーターが点滅します）	・音量を小さくして使用してください。 ・電流容量の大きな USB ポートに接続してください。 ・USB ケーブルを外し、暫くしてから再接続してください。
	USB ハブを使っていませんか。	USB ハブを使わずにパソコンの USB ポートに接続してください。

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHS・一部のＩＰ電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHS・ＩＰ電話などからご利用可能ですが、通話料がかかります。
正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただくことがございますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　一般電話　044−572−8102

■ファックス　044−572−8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（コーハイオニア）　一般電話　044−572−8100

■ファックス　フリーコール 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81095　一般電話　044−572−8107

■ファックス　フリーコール 0120−5−81096

平成25年11月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.055

仕様

本体部

スピーカー

スピーカーユニット……φ 52 mm広帯域フルレンジ
型式……位相反転式ブックシェルフ型
インピーダンス……4 Ω
最大入力 ※ 1……20 W（JEITA）
出力音圧レベル ※ 1……83.5 dB（2 V）

内蔵アンプ

電源……USB 2.5 W
デジタル入力端子……USB B タイプ
アナログ出力端子……サブウーファー（RCA ピンジャック）

その他

機能……サウンド最適化（Dirac HD Sound ※ 2）
接続環境……Windows XP、Vista、7、8 以降 / Mac OS 9.1、OSX 10.1 以降
外形寸法 *……92 mm (幅) x 177 mm (高さ) x 122 mm (奥行)
* 突起物含む
質量……約 1.3 kg（スピーカー R)、約 1.2 kg（スピーカー L）

ボリュームコントローラー部

ヘッドホン出力端子……3.5 mm ステレオミニジャック
外形寸法 *……56 mm (幅) x 37 mm (高さ) x 56 mm (奥行)
* ケーブル含まず
質量……約 140 g

※ 1 パッシブモード使用時は、負荷インピーダンスが4 Ω に対応のアンプを使用し、許容入力以上を入力しないでください。

※ 2 Dirac HD Sound

Dirac の D マークと Dirac HD Sound® の名称はスウェーデンの Dirac Research AB の登録商標です。
Dirac HD Sound® 技術は Dirac 社からのライセンスの下に搭載されています。

保証書

持込修理

品名	機種
PREMIUM USB SPEAKER	ISS-C270A-S

お客様	
お名前	様
ご住所　〒 電話番号　（　）	

お買い上げ日	取扱販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
本体　1年	

SAMPLE

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店または修理受付窓口に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買上げの販売店または弊社サービス拠点が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店または弊社サービス拠点にご依頼ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、修理受付窓口にお問い合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）お買上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   （ハ）火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧等による故障および損傷
   （ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌<カーステレオ等搭載用製品を除く>・船舶への搭載等）に使用された場合の故障および損傷
   （ホ）消耗品（各部ゴム、ケーブル等）の交換
   （ヘ）本書の提示がない場合
   （ト）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   （チ）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
   （リ）出張修理をご希望された場合の出張費用、引取修理をご希望の場合の引取・お届けの配送費用
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号
お問合せ先：カスタマーサポートセンター

© 2014 パイオニア株式会社　禁無断転載